

国立大学病院における 「患者図書室」の現状と課題

(科学研究費奨励研究課題番号18H00008)

折 井 匡

信州大学附属図書館医学部図書館
(元) 信州大学附属図書館地域連携コーディネーター

目次

1. 患者図書室のサービスとは
2. 信州大学病院のこまくさ図書室
3. 先行調査について
4. 先行調査以後の医療の動き
5. 今回の調査の概要
6. 調査してみても
7. 患者図書室への提言

患者図書室のサービス

患者図書室の目的

- ①患者および家族への医療リテラシーへの貢献
 - ・医療・健康図書の提供
 - ・相談窓口への案内
 - ・医学部図書館の紹介

- ②入院患者への 一般・教養・娯楽書の提供

信州大学では

2009年5月 医学部附属病院患者図書室「こまくさ図書室」開室

こまくさ図書室 ①

- 外来患者・入院患者ほか，広く一般に利用できる
- 外来診療日に開室 常駐の専任司書がいる

○松本市図書館の分館機能

市図書館の貸出カード 返却，予約図書の受け取り

一般書 約4,000冊...市図書館からの団体貸出

医学書 約5,500冊...主に信大が購入

※医学部・病院の教員が選書，医学部図書館が購入

(信大購入分も 市の蔵書検索システムに登録)

こまくさ図書室 ②

- 2018年統計の1カ月平均で、
600人が1,600冊を借りている
そのうち 医学（490）は約100冊。
- 専門知識が必要な場合
相談窓口（医療福祉支援センター）を紹介
- 専門図書や検索システムが必要な場合
医学部図書館を紹介

第2の「こまくさ図書室」が出現しない

いろいろPRするも、公共図書館と連携した国立大学病院の図書室が出てこない。

なぜ？

先行調査の発見

愛媛大学図書館医学部分館 土出 郁子氏
(現在は大阪大学附属図書館勤務)

国立大学病院における「患者図書室」の現状と課題

京都大学大学院 2007年度 修士論文 (2006年調査)

本人より論文を入手

「国立大学法人における病院図書室と大学図書館の連携について」

2006.7.16 MIS23 千葉大会

その後の調査を計画

土出氏に許可を得て10年後（2016）の調査を計画

2016年度 定年退職の年 多忙 経費もかかる

2017年度 信州大学図書館に再雇用（非常勤職員）

2018年度 科研費（奨励研究に応募） 採択される

2006年から2018年までに変化したこと

医療法(昭和23年(1943)法律第205号)

第6条の二 (改正 平成18年法律第84号)

- 1 国及び地方公共団体 医療機関の情報の提供
- 2 医療機関 提供できる医療の情報を提供、患者等への相談受付
- 3 国民 医療に関する選択を適切に行い、医療を適切に受けるよう努める

がん対策基本法(平成18年(2006)法律第98号)

全国にがん診療連携拠点病院を392箇所指定

(都道府県がん診療連携拠点病院、50箇所中国立大学病院は23院)

がんに関する情報の提供

2018年調査の概要

- ① 国立大学病院の患者図書室への
アンケート調査
- ② 国立大学医学部図書館へのアンケート調査
- ③ ヒアリング調査
- ④ その他、医療・健康情報に関する情報収集

国立大学病院「患者図書室」 アンケート調査 2018.10実施

2006年

42大学調査

33大学回答

回収率78.6%

2018年

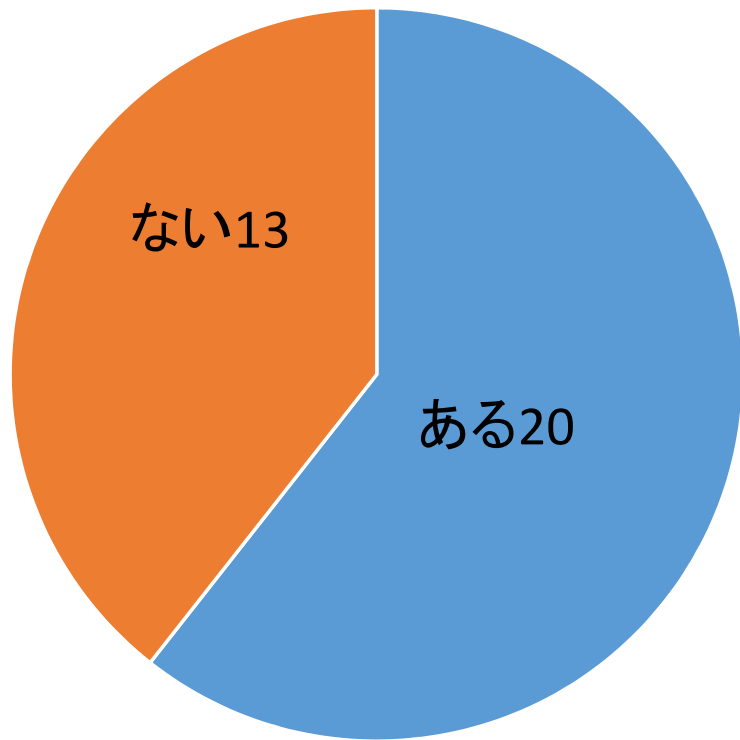
42大学 46病院

(分院を含む)

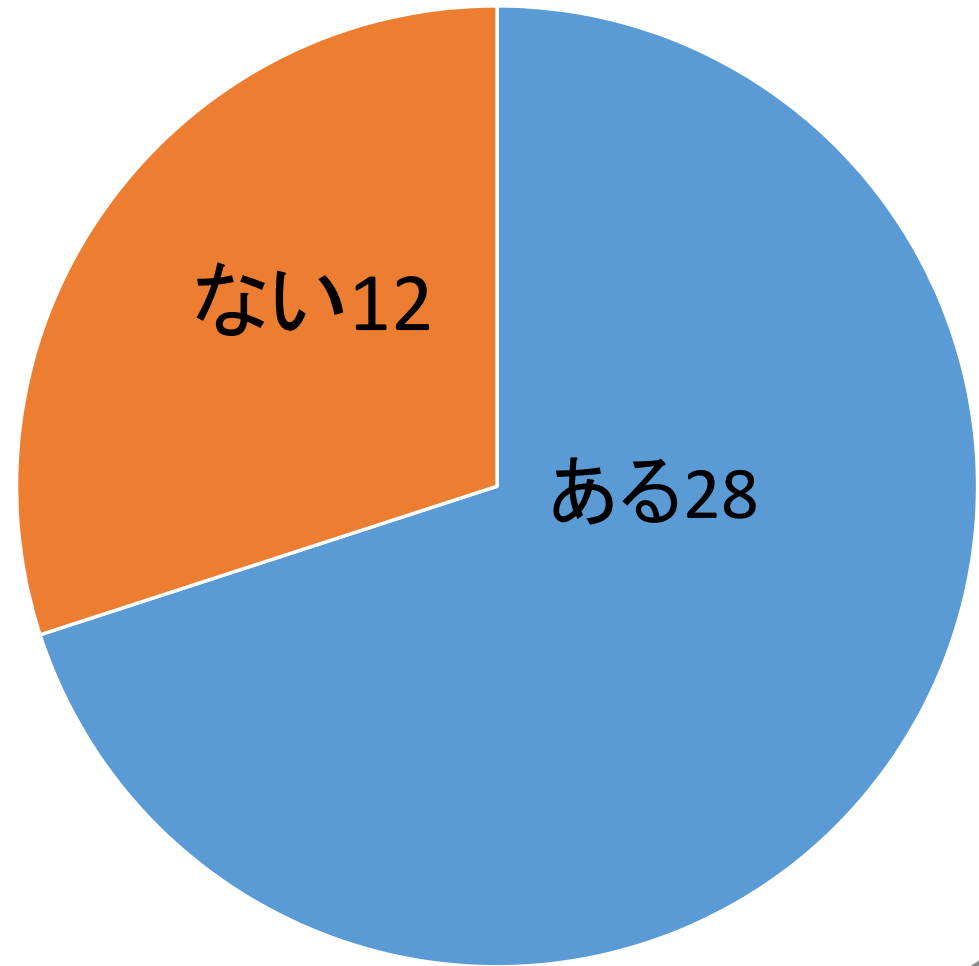
40病院回答

回収率86%

病院患者図書室の有無



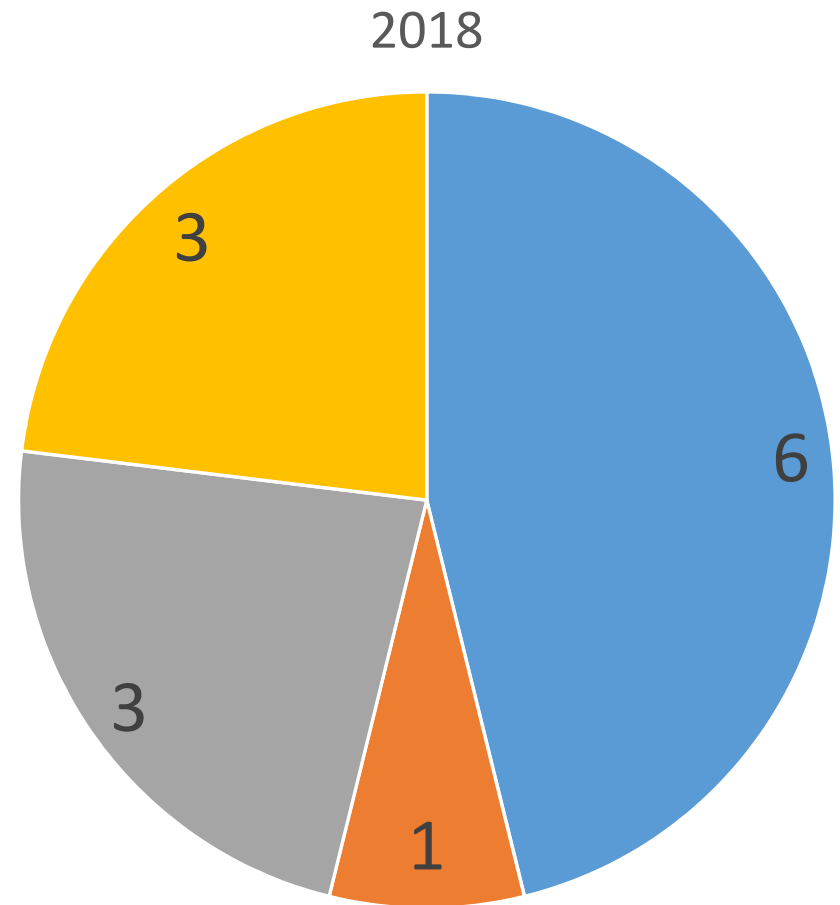
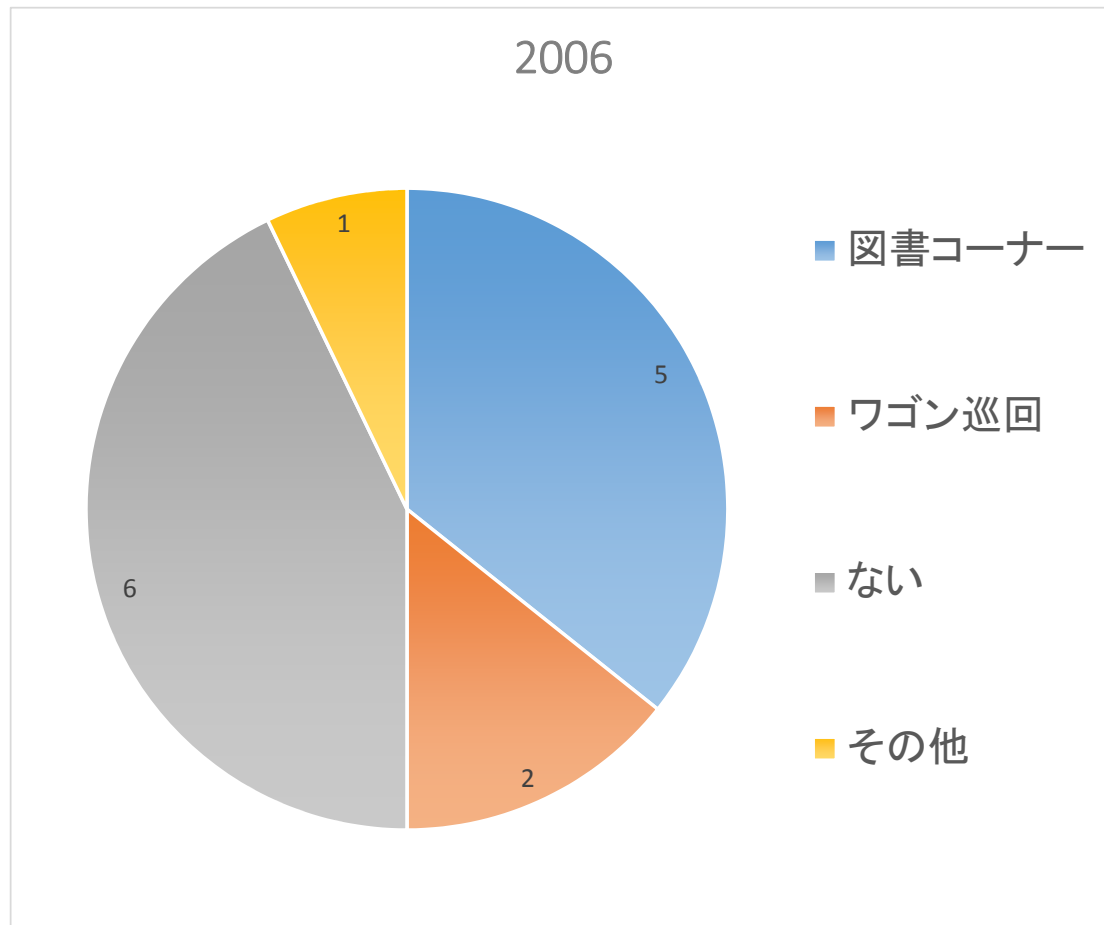
2006年回答33病院



2018年回答40病院

患者図書室がない 代替サービス

複数回答



患者図書室を今後つくる計画があるか？

計画状況	2006	2018
ある	2(15%)	2(17%)
院内に意見としてある	5(39%)	2(17%)
ない	6(46%)	7(58%)
無回答		1(8%)
計	13病院	12病院

患者様からの図書室設置・医療情報を調べる場所の設置希望

希望状況	2006	2018
あり	7(54%)	4(33%)
なし	5(38%)	7(59%)
無回答	1(8%)	1(8%)

図書室にある 備付資料内訳

	2006年(20館)		2018年(28館)	
	館数	平均冊数	館数	平均冊数
小説等一般書	20	3,643	27	5,355
(うち闘病記)			17	279
一般向け医療健康書	16	178	24	377
医学分野学術書	7	445	16	279
パンフレット	3	12	9	29
ビデオ・DVD等	8	60	9	191
インターネット端末	8	2.5(台)	11	2.1(台)
その他	4		7	

資料購入予算

	2006年(20室)	2018年(27室)
あり	3(15%)	10(37%)
なし	17(85%)	17(63%)

資料の入手方法

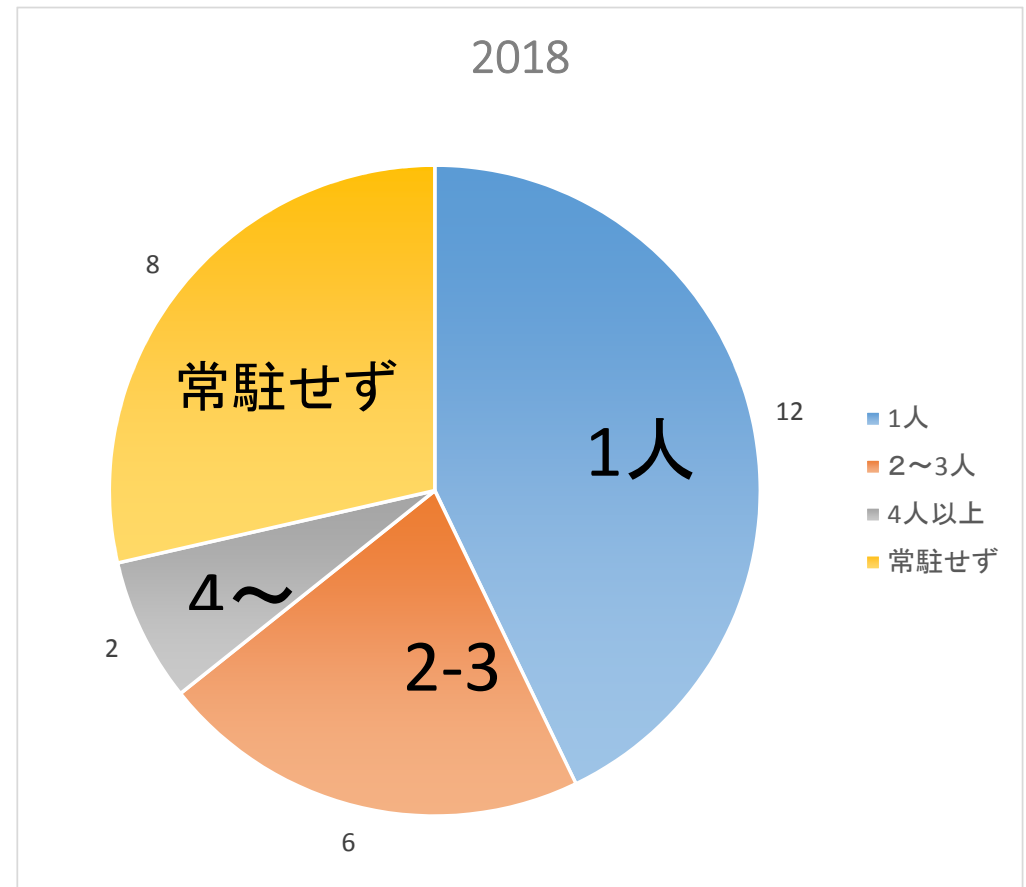
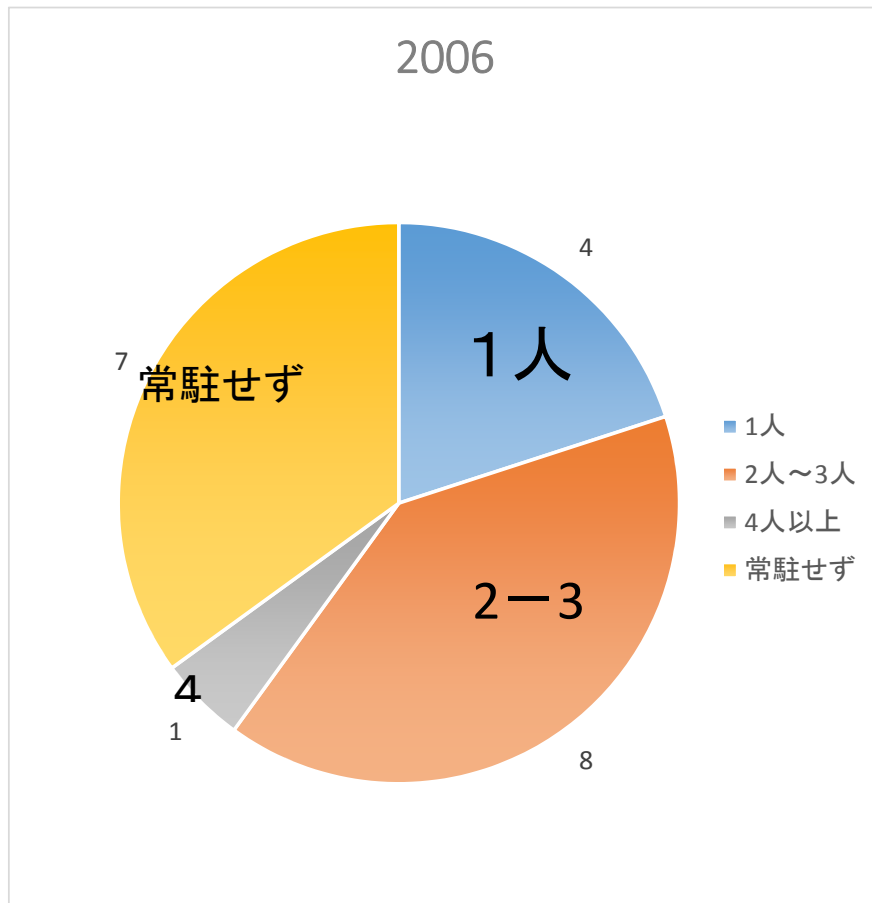
寄贈のみ	15(75%)	14(52%)
購入	5(25%)	13(48%)※

※ 年間予算は無いが、購入している室を含む

図書室の開館状況

・無人24時間開放	6室	1室
・1週間平均 開室日数	4.2日/週	5.0日/週
・1日平均 開室時間数	4時間/日	7.6時間/日

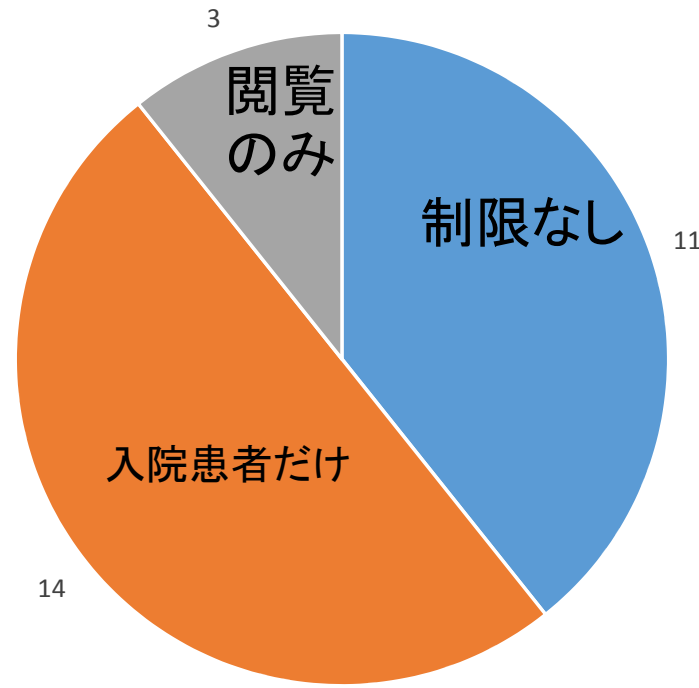
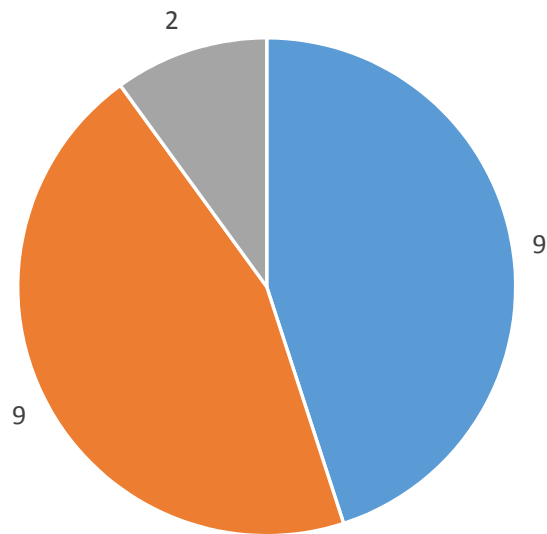
開館時のスタッフ数



貸出ができる人

2018

2006



- 制限なし
- 入院患者だけ
- 閲覧のみ

患者図書室スタッフの業務

業務内容	2006(20)	2018(28)
利用者が求める情報の案内・説明	1(5%)	10(36%)
学内で相談できる窓口を紹介	4(20%)	6(21%)
インターネット端末・ビデオ等の操作説明	4(20%)	6(21%)
本の貸出・返却	15(75%)	24(89%)
本の整理・古い本の入れ替え	18(90%)	24(89%)
本の装備・修理	12(60%)	16(57%)
本のデータ登録	8(40%)	9(32%)
利用記録・統計	11(55%)	9(32%)
その他	2(10%)	2(10%)

複数回答

患者向け図書に関わる人

職種	室数
司書	7(25%)
医師	4(14%)
看護師	7(25%)
医師看護師以外の医療従事者	3(11%)
事務系職員	17(60%)
ボランティア	25(89%)
その他	2(7%)

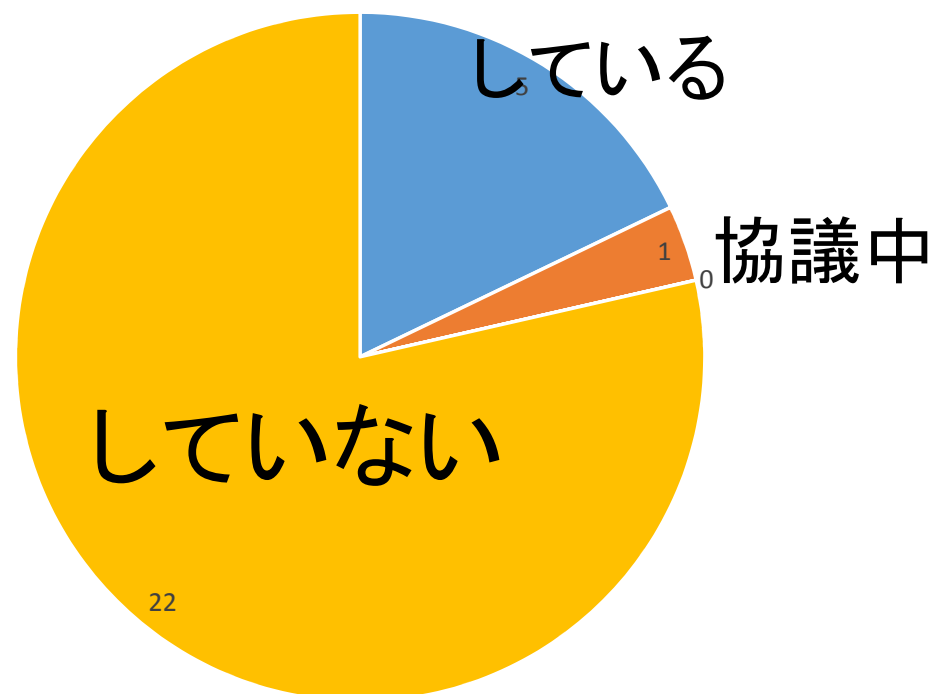
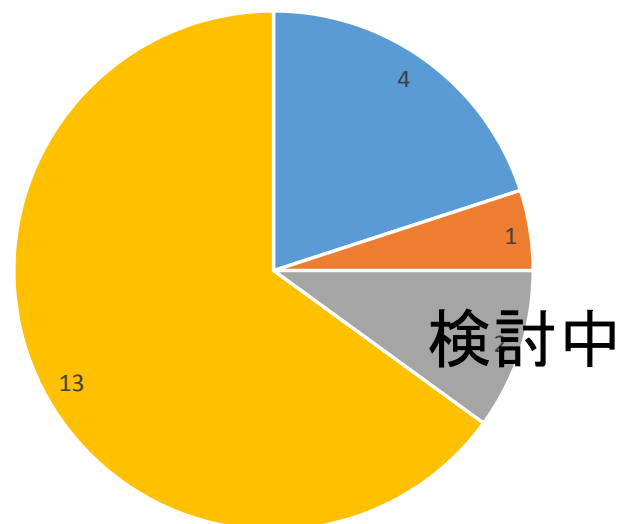
常駐しているだけでなく、図書室の患者向け図書の受入・貸出等に関わる人

2018年のみ調査 複数回答

医学部図書館との連携

2018

2006



している

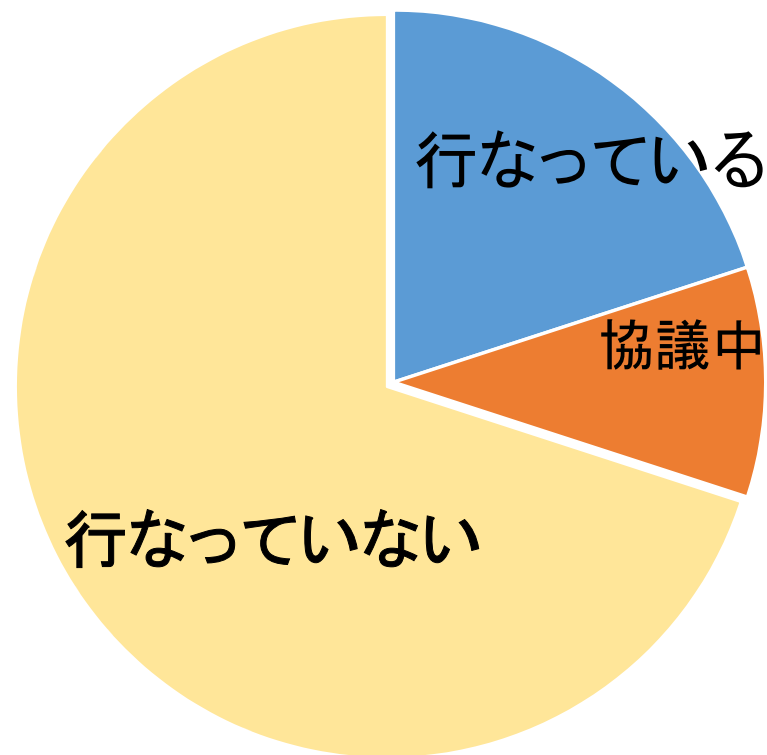
古本をもらっている。資料収集や購入。図書の寄贈。利用者の問い合わせ。

していない

交流がない。管理部門が違う。図書館の性質が違う。必要がない。
ボランティアとの交流は不要。連携する業務がない。

公共図書館との連携

2018公共図書館



★行なっている

- ・重複する書籍をもらっている。
- ・図書館システムの共有・資料の収集
- ・リサイクル図書の資料収集
- ・四半期に1度100冊を借りている。

★公共図書館と協議中

- ・県立図書館からの図書の貸与
- ・県立図書館で公開講座の開催

★公共図書館としていない

- ・近くに公共図書館がない
- ・交流がない
- ・提携する業務がみつからない

医学部図書館へのアンケート調査

42大学にある医学部図書館へアンケート

2006年 34館回答(81%)

2018年 31館回答(74%)

病院に患者図書室がある場合、業務連携や交流を行っているか。

2006年		2018年
3(19%)	している	1(5%)
1(6%)	協議中	0(0%)
3(19%)	検討中	1(5%)
9(56%)	していない	20(90%)

調査してみても

- 多くの国立大学病院の患者図書室は、前回と変わらず「医療・健康情報」を提供できる環境が整っておらず、患者図書室の目的である「患者および家族への医療リテラシーへの貢献」ができるところは少ない。
- 患者及び家族が「医療・健康情報」を求めて来た時に、情報を持っている他の図書館などを紹介する方法を各図書室で確立すべき。
- 全ての国立大学病院に患者図書室を設置して欲しい。

患者図書室へ提案

1. 職員が研修会へ参加する。
2. 公共図書館との連携
3. Webでの「医療・健康情報」の提供

医療・健康情報サービス研修会

医学図書館協会が過去3回実施

全研修者	107名中
公共図書館	61名
患者図書室	1名（所属不明）
国立大学	1名
その他のほかの大学	23名
ほか	21名



長野県(健康福祉部)プレスリリース 平成 30年(2018年)10月11日

長野県がん対策推進条例「がんと向き合う週間」関連イベント

「本のついでに、“がん”のこと」

—信州まちなか保健室 in 県立長野図書館—

を10月20日(土)に開催します

10月15日からの一週間は、長野県がん対策推進条例に定める「がんと向き合う週間」です。この週間に合わせ、がんについて知識を深めたり、気になることを相談できるイベントを県立長野図書館において開催します。

“いつものようにふらりと図書館に来てみたら、がんのこともし少し詳しくなれた”というような気軽な催しですので、ぜひご家族でお越しください。

日時 平成 30年 **10月20日(土)** **13:00 - 16:00**

※申込み不要・参加無料ですので、お気軽にお立ち寄りください。

場所 県立長野図書館 1階 玄関ホール

内容

がんのこと、
気軽に聞いてみよう！
「がん相談ブース」



長野赤十字病院がん相談支援センターの職員が随時ご相談を受け付けます。日頃、気になっていることをこの機会に専門家に尋ねてみませんか？

見て、触って、会話して！
「展示コーナー」



「乳がん触診モデル」や「大腸がんクイズラリー」など、自己チェックに役立つアイテムをご用意します。また、がんをアニメで学ぶDVD上映も行いますので、親子でご覧ください。

どこにどんな情報があるんだろう？
「知るための道しるべ」



病気のこと、入院生活、手術、退院後の生活、食事レシピ、就労…。がんに関するさまざまな情報を入手するための本やパンフレット、Web情報などをご案内する図書館ならではのコーナーです。

公共図書館の医療イベント

長野県立図書館

公共図書館との連携 2/2

オレンジネットワークとっとりリレー講演会（東部会場）

【日時】平成30年7月1日（日） 鳥取県立図書館 大研修室

【参加人数】 講演会参加者：180名以上

【対象】一般県民 高齢者施設関係者 図書館関係者

【内容】

(1) 講演「認知症の最新情報」 講師：鳥取大学医学部 浦上克哉教授

(2) 対談「認知症になってもだいじょうぶ！そんな社会を創っていこうよ」

講師：鳥取大学医学部 浦上克哉 教授

（一社）日本認知症本人ワーキンググループ代表理事 藤田和子 氏

(3) 取組報告「音読教室から見る図書館における高齢者サービス」

報告者：鳥取市立図書館 田村晴夫 館長

Webでの「医療・健康情報」の提供

愛知医科大学病院 患者図書室 の例

医療・健康に関連する
事柄をお調べいただくための
専用パソコンです。

室内にあるDVDの視聴、病気・くすり・介護・
病院情報などの情報を見ることができます。

- 情報検索、DVD視聴専用
- ご利用時間 * 60分以内

了解

医療・健康情報リンク集

2019.6.13

医療情報

- ▶ 情報の使い方
- ▶ 医療総合・保健・福祉
- ▶ 病院、専門医
- ▶ 患者会
- ▶ 患者-医療者

病気・症状

- ▶ 事典、辞書類
- ▶ 診療ガイドライン
- ▶ 病気や治療の解説
- ▶ 臓器移植

薬・健康食品

- ▶ くすり
- ▶ 漢方
- ▶ 健康食品
- ▶ 副作用被害の救済

生活

- ▶ 健康保険
- ▶ 年金
- ▶ 成年後見人制度

図書・論文等検索

- ▶ アイブラリーの資料
- ▶ 図書・雑誌論文
- ▶ 闘病記
- ▶ 県内、近隣の図書館
- ▶ Google

当院について

- ▶ 愛知医科大学病院
- ▶ アイブラリー利用案内
- ▶ 総合学術情報センター
図書館利用案内

免責事項

最初のページへ

次へ

29

科研費（奨励研究）の勧め

課題番号18H00008

ありがとうございました。

信州大学医学部図書館

折井匡 (orii tadashi)

tori@Shinshu-u.ac.jp